

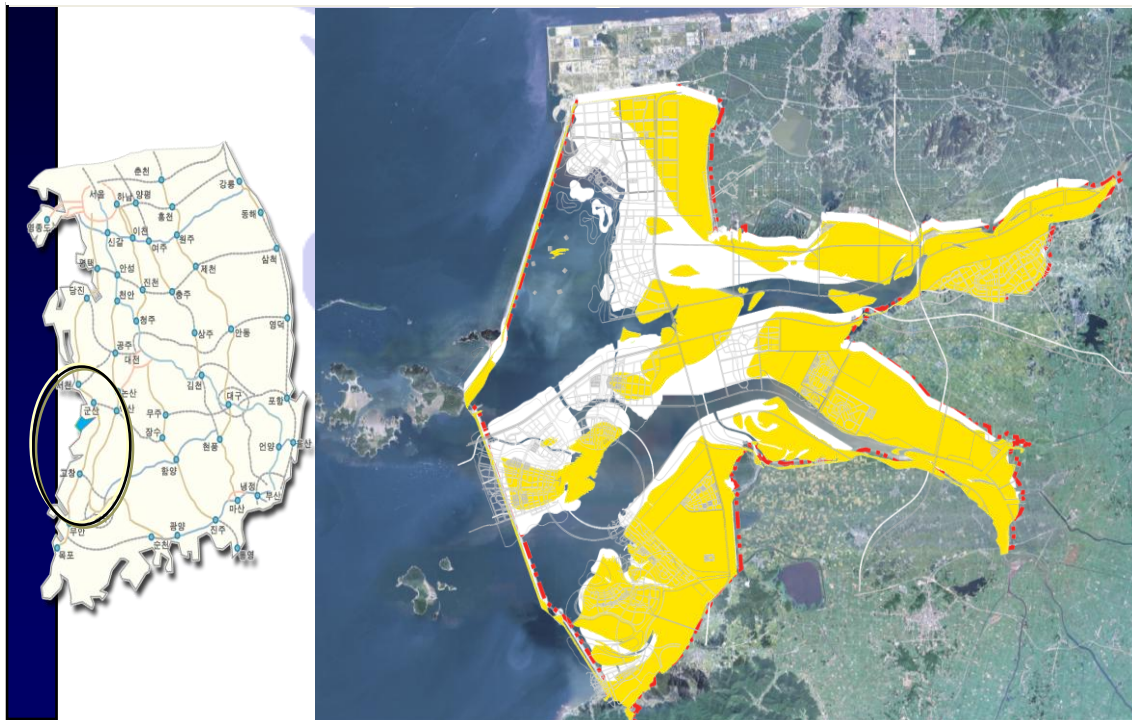
世界最長の防潮堤により誕生した産業団地 in 韓国 ～セマングム群山経済自由区域に見る外資誘致の取り組み～

ソウル事務所

在韓企業を中心とした在住日本人の親睦団体であるソウルジャパンプラブ（SJC）では年に2回、法人部研修旅行として韓国内の産業視察を実施しています。7月に実施された産業視察「セマングム群山経済自由区域（全羅北道）」の視察に参加しましたのでご報告します。

韓国政府が北東アジアの経済の中心地にすべく開発を進めているセマングム群山経済自由区域は、韓国の西海岸の全羅北道群山市、金堤市、扶安郡一円に位置し、広大な海を埋め立てて作った土地です。1960年代の食糧不足を背景として、農業用地・用水の確保を目指して議論が始まり、80年代の環境アセスメント、住民との協議等を経て、1991年に防潮堤工事に着工、2010年4月に完成しました。これにより世界最長 33km の防潮堤を持つセマングム事業の第1段階干拓地外郭工事が完了し、401 平方キロ（東京都の面積の1／5に相当）の国土が誕生しました。半島の地図が変わったとさえ言われる大事業です。

セマングム群山経済自由区域の位置





完成した世界最長の防潮堤。画像向かって左が海側。右が干拓予定地。

日系製造業や商社の代表約20名の視察団が訪問したのは7月14日でした。セマングム群山経済自由区域は前日に群山市内から引っ越してきたばかり。私達が最初の訪問者です。まずイ・ミョンノ庁長から歓迎のごあいさつをいただいた後、コ・ヒソン産業部長より投資誘致策の説明がありました。セマングム群山経済自由区域は、区域内にセマングム産業団地を設け保税区域の指定を受けるなど外資誘致に並々ならぬ意欲を見せています。セマングム産業団地の主な優遇策は以下のとおりです。

■租税減免措置

法人税と所得税：5年間100%、次の2年間50%

不動産取得税・登録税・財産税：15年間100%

関税：輸入生産設備と材料は5年間100%

付加価値税・個別所得税：3年間100%

■補助金支援

現金支援：投資金額の5%以内、産業立地補助金 正常価格の50%以内 など

またセマングム側からは同産業団地では全面積の20%を緑地とし、自然と先端産業が調和する緑色都市として開発している旨説明がありました。

これに対し日本側からは、学校や病院といった生活者のためのインフラ整備に対する質問や、投資後どのように企業の運営をフォローするのかといった質問が相次ぎ、関心の高さを伺わせました。

セマングム群山経済自由区域では、企業誘致だけではなく、環境と文化が共存するセマングム観光団地の整備や、隣接する古群山群島地区を生かした滞留型海洋観光地の整備も進められています。事業の過程では、広大な干潟が失われることや、造成される淡水湖の水質悪化の恐れなど環境への影響が懸念されたことから、1999 年から2年間にわたって工事を中止し官民共同での環境影響調査も行われました。また、事業中止の訴訟も提起され、政府は公聴会の開催に加えて、新たな環境改善措置などを盛り込んだ「環境に優しい順次開発方針」などを示し開発を進めています。

全体計画についても、当初は約 70%を農業用地として予定していましたが、李明博大統領の下で経済状況等を踏まえ農業用地は約 30%とするなど経済・観光を重視した計画に変更しています。本区域は韓国政府が成長の原動力として位置づけている地域であり、環境と開発を両立させるといった観点からも今後が注目されます。



セマングム群山経済自由区域庁での説明会の様子

※画像はすべてセマングム群山経済自由区域庁提供

(塚本所長補佐 秋田県派遣)